

## 第10回姫路市新型コロナウイルス感染症対策本部会議での指示事項

(令和2年8月27日)

まず、本市における新型コロナウイルス感染症の状況ですが、7月12日に約2か月ぶりに陽性患者が発生して以降、昨日までの1カ月半の間に69人の感染が確認されており、陽性患者の総数は110人となっています。

最近の傾向としては、若者の感染が増加していることや感染経路が不明な者が増加していることなどが見受けられます。また、全体として感染者が低年齢化し、比較的軽症な患者が多く見られます。

全国的には、東京都や大阪府などをはじめとして、依然、人と人との交流が多い地域で相当数の陽性患者が発生しております。

本市におきましては、コロナへの警戒を怠ることなく、感染拡大の防止を図りながら、観光の促進などにより経済活動のレベルを維持し、アクセルとブレーキを使い分けながら、市政を推進しているところです。市民の皆さまには、今一度、3密の回避、うがい・手洗いの徹底、熱中症予防にも留意したマスクの着用等の命を守るための行動にご協力くださいますようお願いいたします。

本年1月16日に国内で初めての新型コロナウイルス感染症患者が確認されたのを受け、本市においては、直ちに情報共有や今後の対策等の協議を開始し、適宜、本部会議等を開催し、各種対策を講じてきました。ついては、この度、コロナに対する本市のこれまでの対応を検証し、今後の対応を検討するため、各部局からの報告等をもとに「新型コロナウイルス感染症対策レビュー中間報告」を取りまとめました。この中間報告について、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において審議、共有をし、今後の対策に一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

「Withコロナ」の期間は、これからも当分続くと思われれます。冬に向かって、季節性インフルエンザの流行もふまえ、医療機関が逼迫することも考えられます。WHOの予測においても、2年・3年の長期線を覚悟する必要があるとも言われています。職員の皆さんにおいては、「ニューノーマル」の生活を検証・実践し、感染拡大を防止しながら、地域経済の復興、市民生活への支援など市民の3つのLIFE『命』、『一生』、『くらし』を守り抜くという使命をしっかりと認識、自覚し、市民の規範となるよう、それぞれの部局において施策や業務を着実に進めていくよう指示します。